

## 未来予想図 土地利用計画



整備予定地:川添1丁目 ※今後の詳細な検討により、変更することがあります。また、写真等はイメージです。

## 整備スケジュール



## 運営開始に向けた取組

運営開始までの間も、地域共生社会の実現に向けた取組として、市だけでなく、市民の方々や事業者など、多様な主体の参画により整備を進めていきます。また今後、愛称の募集やイベントなどを行う予定です。

## (仮称)地域共生ステーション整備基本構想(概要版)(R4.12)

### ■ 社会背景・福祉を取り巻く環境

全国的にも少子高齢化や人口減少の進行などにより、福祉ニーズが多様化・複合化するなど、福祉分野を取り巻く環境は大きく変化しています。

- ・核家族化や共働き世帯の増加などによる子育ての孤立化
- ・高齢者のみの世帯、単身世帯の増加などによる家庭機能の低下や高齢者の孤立化
- ・ライフスタイルの多様化等による地域でのつながりの弱まり
- ・日常生活における不安や悩みを相談できる相手がいない
- ・世帯の状況の変化を周囲が気づき支えるという人間関係の希薄化

介護と育児のダブルケア、8050問題などの課題発生・表面化

### ■ 地域共生社会への移行が必要

今後、人と人、人と社会とのつながり、一人一人が役割や生きがいを持ち、お互いに助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創ることが求められています。

### ■ 高槻版地域共生社会モデルの整備

モデル空間での取組や成果を市全域に広げ、地域共生社会の実現を目指します。

… 空間のコンセプト …

(仮称)地域共生ステーションで過ごす人、訪れる人、すべての人が

- ・安心して過ごせる空間であること
- ・希望を持ち、夢を育める機会があること
- ・人や地域社会と関わり合いを持てること
- ・地域や訪れる人のために役割を持てること



写真：厚生労働省HPより

# (仮称)地域共生ステーション未来予想図 ～ 事業展開等 ～

## まるごと相談窓口

困りごとを気軽に相談



## エントランスホール (仮称) 地域共生センター

エントランス解放空間、展示等スペースや、みんなの居場所と一体的に利用(交流スペース)。催物コーナーイベントも。

## 展示・図書・啓発コーナー

障がい者アート展示や子ども絵画展示、その他の地域共生展示やパンフレット配架など。



## 多目的ホール・避難所・備蓄倉庫

発表会や各種催し物、大規模な合同研修など様々なことに活用できる多目的室。災害時には通常の避難所で過ごすことが困難な人々に向けた避難所。

## eスポーツ体験

eスポーツ体験、介護予防やリハビリ活用、ハンデゼロでの競技で生きがい創出、ゲームを通しての多世代交流も。

## みんなの居場所

子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も気軽に來れて、ともに、または思い思いに過ごせる場所。



## 障がい者スポーツ教室

専門の設備と専門指導員が教室開催。社会参加を超えて、スポーツ大会出場を目指す。インクルーシブなスポーツの体験教室も。



## スマホ教室



## 講座開催

## 生活困りごとマッチング

外出介添ボランティアや中間的就労で買い物やゴミ出しのお手伝い。

## 畑活プロジェクト



## もてきん体操

## 障がい者・多世代アート 展示会



## 障がい者アート(絵画) ・スポーツ室

障がい者アート部屋。専門の環境と講師で教室開催。作品は、展示スペースやイベントで。

## つどいの広場 (地域子育て支援拠点施設)



## カフェ・ベーカリー等 (障がい者就労)

ステーション農産物利用 子ども食堂機能付(週1日以上)



## マルシェ・ フリーマーケット

障がいのある方や地域の方が作った商品の展示や販売会。

## コ・ワーキングスペース

インクルーシブな供用オフィス。障がい者の就労訓練も。



## 福祉の仕事体験